

単元名

アジア州～産業の発展が急速に進む南アジア～

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力

- 1 日 時 : 平成29年 10月4日 (水)
- 2 場 所 : 1年3組教室
- 3 学年・学級 : 1年3組 34名 (男子18名, 女子16名)
- 4 単 元 名 : アジア州～産業の発展が急速に進む南アジア～
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、世界の諸地域の学習の始まりであるアジア州について学び、中学校学習指導要領社会「地理的分野」の内容(1) 世界の様々な地域 ウ 「世界の諸地域」を受けて設定したものである。

ウ 世界の諸地域

世界の諸地域について、以下の(ア)から(カ)の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの地域的特色を理解させる。

- (ア) アジア (イ) ヨーロッパ (ウ) アフリカ (エ) 北アメリカ
(オ) 南アメリカ (カ) オセアニア

日本も所属しているアジア州では、民族や宗教の分布、人口問題、急速な経済発展など人々の生活に変化を生む事象が多く起こっており、この面から、アジア州の地域的特色の理解につなげていくことができる。また、アジア州を身近に感じることでイメージを構成することができ、アジア州の地理的認識を深めていくことができるようになる。さらに、日本と経済や生活とのつながりが深いアジア州について、地域的特色のみでなく課題も多面的・多角的に考察していくのに適した単元である。

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

本学級の生徒に、「アジア州」「自分自身の学習」についてのアンケートを行った。アジア州に関するアンケートでは、アジア州が経済発展していることを把握している生徒は、29%と多くの生徒が把握していない状況だった。また、アジア州の中で、経済の中心になっている国を選択するものにおいては、「日本」「中国」が多かった。この結果から、アジア州が経済発展を遂げ、その中心がどの国であるかが把握できていない状況であることが分かる。自分自身の学習に関するアンケートでは、入学当初に比べ、振り返りをしっかり書くことができるようになったと肯定的な回答をした生徒は93%と高かった。しかし、家庭で復習をしている生徒は半数を切る状況であった。今年度、1学年社会科では「コーネル式ノート」を参考に、1枚のノートで振り返り、復習ができるように工夫しているが、書きこみ状況は生徒間で差があるのが実態である。そして、家庭での復習がアンケートの結果でも分かるように不十分であることがわかった。

また下の表は、1学年、1年3組の1学期中間・期末テストの正答率を表している。

1学期中間テスト結果

	思考	技能	知識
1学年正答率	65.1%	65%	72.7%
3組正答率	63.5%	66.4%	69.3%
	-1.6%	1.4%	-3.4%

1学期期末テスト結果

	思考	技能	知識
1学年正答率	56.1%	59.2%	55.4%
3組正答率	57.2%	62.5%	54.3%
	1.1%	3.3%	-0.9%

このように、本学級は1学年全体の正答率より、思考・判断・表現と知識・理解の観点の正答率が低いことが分かる。アンケート結果で家庭での復習が充分でないことから分かったとおり、知識の定着に課題がある。また、思考・判断・表現の観点も比較的低いことから、「知識・技能を活用した問題」に課題があることも見えてきた。

(3) 指導観（指導改善のポイント）

本単元では、まず、アジア州の自然環境や人口などの地域的特色を大観させる。そして、それらの地域的特色をもとに、産業や文化、経済の分野への疑問を生徒から導き、各州（東南アジア、南アジア、西アジア）の特色と関連付けることで解決し、新たな発見ができるような展開にしていく。その際、本学級の生徒の課題である「知識・技能を活用した問題」にスムーズに取り組ませるために、既習知識をその都度、復習していくことで思考に必要な事項を定着させていきたい。

指導にあたっては、本校の研究テーマである「ピア・サポート」を活用し、班での協同学習を通して、学習に対する理解や興味・関心を高めたい。学習の中にピア・サポートを取り入れることにより、個人思考が困難な生徒も、生徒同士の教え合いの中で思考を深めることができるよう工夫する。これらを十分に生かし、協同して課題発見・解決できる力を養っていく。

単元の目標

アジア州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。

【社会科学習指導要領〔地理的分野〕（1）ウ（ア）】

単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・アジア州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に、アジア州の地域的特色に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとする。	・アジア州の地域的特色をそこに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・アジア州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、収集した資料から有用な情報を適切に選択できる。 ・適切に選択した情報を基に、アジア州の地域的特色について読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	・アジア州について、そこに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に、地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

6 指導と評価の計画

全6時間 (本時は5/6)

次	○学習内容 (時数) ・ポイントになる生徒の思考	主な学習内容				資質・能力の評価	
		関	思	技	知		評 価 規 準
1	○アジア州の自然環境 (1) ・ユーラシア大陸の広い範囲をしめるアジア州では、地形や気候などにどんな特色があるのだろうか。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #E0B0B0; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">課題の設定</div>	◎			○	アジア州への関心を高め、自然環境の特色を捉えようとしている。 ○ 世界の面積・人口にしめるアジア州の割合を理解することができる。	
2	○地域によって異なるアジアの農業や文化 (1) ・なぜ、アジア州では、地域によって異なる農業や文化が発達したのだろうか。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #E0B0B0; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">情報の収集・整理 1</div>		○			アジア州の自然環境と農業や文化のかかわりについて考察することができる。	
3	○自立の道を歩む東南アジア (1) ・工業化が進む中で、どのように外国とかかわってきたのだろうか。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #E0B0B0; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">まとめ・創造・表現 1</div>			○		外国とのかかわりについて、資料をもとに説明することができる。	
4	○経済発展を急速にとげた中国 (1) ・中国の人々の生活は、経済発展によってどのように変わってきたか。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #E0B0B0; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">情報の収集・整理 2</div>		○			中国の経済発展とその背景、経済発展と人々の生活について考察することができる。	
5	○産業の発展が急速に進む南アジア (1)			○		BRICSの一角を担うインドの急速な経済成長を資料から読み取	課題発見・解決力 資料から経済成長

	<p>本時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドにはなぜ、高層ビルとさびれた街が混在しているのだろうか。 ・インドは急速な経済成長を遂げているが、課題はないのだろうか。 <p>まとめ・創造・表現 2</p>		◎		<p>ることができる。</p> <p>急速な経済成長による格差の拡大などの課題について理解し、対応策を考えることができる。</p>	<p>の課題を見出し、対応策を考える。</p>
6	<p>○資源が豊富な西アジア・中央アジア（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済成長を支えているのは、どのような産業なのだろうか。 <p>まとめ・創造・表現 3</p> <p>振り返り</p>		○		◎ <p>西アジアや中央アジアの産業の特色を捉えようとしている。</p> <p>アジア州の地域的特色を自分なりの言葉で振り返ることができる。</p>	

7 本単元において育成しようとする資質・能力との係わり

本校において、重点的に育成しようとする資質・能力は次の6つである。

知識	①将来に通用する基礎学力
スキル	②課題発見・解決力 ③人間関係形成能力
意欲・態度	④チャレンジ精神 ⑤耐える力
価値観・倫理観	⑥人としての思いやり

この中でも、特に本単元では、次の点に重点を置くものとする。

【スキル】

②課題発見・解決力

・既習事項や資料を活用し、急速な経済成長をとげるBRICS国内の格差の拡大の課題を見出し、対応策を考えることができる。

8 本時の展開

(1) 本時の目標

インドの急速な経済成長による課題を見出し、対応策につなげることができる。

(2) 観点別評価規準

BRICSの一角を担うインドの急速な経済成長を資料から読み取り、特色を考察することができる。
(技能)

急速な経済成長による格差の拡大などの課題について理解し、対応策につなげることができる。

(思考・判断・表現)

(3) 学習の展開 (5時間目/全6時間)

	学習活動	指導上の留意事項■ (努力を要する生徒への指導の手立て ◆)	観点の評価○ 資質能力の評価●
導入	<p>1 インドのムンバイの写真を見て、本時の内容の見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>生徒の予想される反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高層ビルがある ・さびれた街がある ・高層ビルとさびれた街が混在している。 </div>	<p>■スラムと高層ビルが同じ景色にある写真を提示し、疑問を持たせる。</p>	
	<p>本時の目標：インドの急速な経済成長による課題を見出し、対応策につなげることができる。</p>		
展開	<p>2 A, Bの2つの資料を読み取り、課題を見出す問いに対する答えを見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Q. インドは経済発展しているのに、なぜ写真のような実態なのだろう？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A インドの人口推移 B ムンバイの富裕層と貧困層の平均年収</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>生徒の予想される反応</p> <p>A…人口が急激に増加している 中国に比べて増加率が高い</p> <p>B…富裕層と貧困層の差が激しい 同じ都市でも格差がある</p> </div>	<p>■全体で資料Aを用いて、読み取りのポイントを復習する。</p> <p>■読み取りのポイントをふまえて、Bの資料を読み取らせる。</p> <p>◆さらに、資料の読み取りが困難な生徒には、机間巡視で読み取りのポイントを示す。また、ペア活動を促す。</p>	<p>○資料の読み取り (技能, ワークシート)</p> <p>●インドの急速な経済成長による課題を見出すために、資料を読み取ることができる。(ワークシート)</p>
	<p>3 資料から読み取ったことをまず班で共有し、全体に共有する。</p>	<p>■班の中で交流させ、考えていくテーマを1つにしぼる。</p> <p>■しぼった内容をボードに書き、全体に共有し、分類、関連付けする。</p>	

	<p>深め合いのピア・サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手にわかりやすい説明を行うことで互いに思考を補足することができる。 ・比較したり，関連付けたりすることで新たな発見ができる。 <p>4 資料A・Bで読み取った内容を1つにまとめ，インドの急速な経済成長に対する課題を見出し，対応策につなげる。</p> <p>教え合いのピア・サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つにまとめるポイントを教えることができる。 	<p>◆1つにまとめることができない生徒には，机間巡視でまとめるポイントを示す。また，ペア活動を促す。</p> <p>■対応策は，本時の学びを生かし，家庭学習において練ってくることを伝える。</p>	<p>●インドの急速な経済成長による課題を2つの資料から見出すことができる。(ワークシート)</p> <p>○対応策につなげる(思考・判断・表現，ワークシート)</p>
まとめ	5 本時の振り返りを行い，次時の内容を確認する。		

(4) 本時で育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
課題発見・解決力	<p>A インドの急速な経済成長による課題を2つの資料から見出し，前時で学習した中国のことと関連づけてことができる。</p> <p>B インドの急速な経済成長による課題を2つの資料から見出すことができる。</p> <p>C インドの急速な経済成長による課題を1つの資料から見出すことができる。</p>

9 板書計画

本時の目標 インドの急速な経済成長による課題を見出し，対応策につなげることができる。

P44, 45

○ムンバイの写真の気づき

ミッション1

ミッション2

インドの経済発展の課題

ミッション3